

第1会場（百年講堂 1F 大ホール）

学会会長講演 9:00～9:25

座長：原 量宏（日本遠隔医療学会名誉会長／香川大学瀬戸内圏研究センター）

オンライン診療を新たな潮流として遠隔医療が医療を変える

近藤 博史（日本遠隔医療学会 会長）

一般演題1 9:30～11:00

座長：森田 浩之（岐阜大学大学院医学系研究科 総合病態内科学）
樽松 八平（BHN テレコム支援協議会）

国際診療・遠隔教育

O1-1 アジア諸国でのオンライン診療の実用化に関する通信および決済環境の調査

○郡 隆之

利根中央病院

O1-2 諸外国における遠隔診療の取り組みについて

○岸本 純子

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

O1-3 当院における遠隔医療相談への取り組み

○相良 理香子¹⁾、時 穎¹⁾、松本 美佳¹⁾、工藤 孔梨子²⁾、下野 信行¹⁾、中島 直樹¹⁾、清水 周次^{1,2)}

1) 九州大学病院国際医療部国際診療支援センター、2) 九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター

O1-4 日本を訪れる外国人の「言語障壁を解消できる遠隔通訳者」の自動呼出しシステムの開発

○佐々木 春光、亀田 冬樹

ボーダレス・ビジョン株式会社

O1-5 ライブ手術を取り入れた国際遠隔学生教育の取り組み

○森山 大樹^{1,2,3)}、工藤 孔梨子²⁾、貞苺 良彦³⁾、森山 智彦²⁾、中島 直樹²⁾、中村 雅史³⁾、清水 周次²⁾

1) 九州大学病院 光学医療診療部、2) 九州大学病院 国際医療部、3) 九州大学大学院 臨床・腫瘍外科

O1-6 台湾、中国、日本で開催している胎児心エコーの遠隔症例検討会

○川瀧 元良

神奈川県立こども医療センター新生児科

O1-7 Improvement in the Indonesia Neuroimmunology Teleconference on 2018: Expanding the Network to Provide Better Service Across Indonesia

○ Arthur H.P. Mawuntu¹⁾、Riwanti Estiasari²⁾、Badrul Munir³⁾、Kartika Maharani²⁾、Darma Imran²⁾、Pepi Budianto⁴⁾、Eko Arisetijono³⁾、David²⁾、Andika Okparasta⁵⁾、Cempaka Thursina⁶⁾、Indra Sari Kusuma Harahap⁶⁾、Nopa Krismanto⁷⁾、Yonathan Adrian Suparman¹⁾、Aria Kekalih⁸⁾、Achmad Junaidi⁵⁾、Diah Kurnia Mirawati⁴⁾、Paulus Sugiarto⁹⁾、Devi Ariani Sudibyo⁹⁾、Noriko Isobe¹⁰⁾、Takuya Matsusita¹⁰⁾、Jun Ichi Kira¹⁰⁾

- 1) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Sam Ratulangi/R.D. Kandou Hospital, Manado, North Sulawesi, Indonesia
- 2) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Indonesia/Dr. Cipto Mangunkusumo General Hospital, Jakarta, Indonesia
- 3) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Brawijaya/Dr. Saiful Anwar Hospital, Malang, East Java, Indonesia
- 4) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Nasional Sebelas Maret/Moewardi General Hospital, Solo, Central Java, Indonesia
- 5) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Sriwijaya/Dr. Mohammad Hoesin University Hospital, Palembang, South Sumatera, Indonesia
- 6) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Gadjah Mada/Dr.Sardjito Hospital, DI Yogyakarta, Indonesia
- 7) Technology and Informatics Division, Faculty of Medicine Universitas Indonesia, Jakarta, Indonesia
- 8) Indonesia Medical Education and Research Institute, Faculty of Medicine Universitas Indonesia, Jakarta, Indonesia
- 9) Department of Neurology, Faculty of Medicine Universitas Airlangga/Dr. Soetomo General Hospital, Surabaya, East Java, Indonesia
- 10) Neurological Institute, Graduate School of Medical Science, Kyushu University, Fukuoka, Japan

O1-8 Exploring the Role of Telemedicine in Improving Access to Healthcare Services by Women and Girls in Rural Nepal

○ Rajan Parajuli

Nepal Research and Education Network Gusingal, Kathmandu, Nepal

特別講演 11:00~12:00

座長：森山 智彦（第12回アジア遠隔医療シンポジウム会長）

日本の禁煙の進歩と遠隔医療

高橋 裕子（京都大学大学院医学研究科健康情報学）

主題プログラム2 13:10~15:00

座長：郡 隆之（利根中央病院）
吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

国境を越えた遠隔診療への期待と問題点

SH2-1 海外在留邦人のための遠隔医療の可能性—外務省医務官の立場から

○猪瀬 崇徳

外務省 福利厚生室

SH2-2 海外在留邦人の睡眠呼吸障害に対する遠隔医療の有用性の検討

○吉嶺 裕之

社会医療法人春回会 井上病院

SH2-3 遠隔医療のアジア展開事例について

○樽松 八平

BHN テレコム支援協議会

SH2-4 中国からの訪日患者の適性を評価するための遠隔画像診断支援手法の構築

○嗣江 健栄¹⁾、江島 堅一郎^{2,3)}

1) ViewSend ICT 株式会社、2) 日本大学歯学部歯科放射線学講座、3) 一般社団法人保健医療ネットワーク

SH2-5 Proven Effectiveness of Telemedicine Based Health-Care Services for Arsenic Victims in Rural Bangladesh

○ Anwarul Haque¹⁾、Takayuki Kohri²⁾

Rotary club of Numata, Japan and Chandpur central, Bangladesh

1) Department of Infectious Diseases, International University of Health and Welfare, Narita, Japan

2) Division of surgery, Tone central hospital, Numata, Gunma, Japan

SH2-6 The Exploration of Telemedicine Application in Punan Hospital

○ Liu Wei-dong

President of Shanghai Punan Hospital, China

特別企画1 15:30~17:30

座長：清水 周次（九州大学病院 国際医療部 / アジア遠隔医療開発センター）

Christopher Khor (Singapore General Hospital & Duke-NUS Medical School)

遠隔医療教育プログラムの世界的展開

SP1- 基調講演 遠隔医療教育の世界的展開

○清水 周次

九州大学病院 国際医療部 / アジア遠隔医療開発センター

SP1-1 関連施設の手術手技の向上と標準化を目指した佐賀大学手術ビデオカンファレンス

○真鍋 達也¹⁾、久保 顕博¹⁾、梶原 脩平¹⁾、松永 壮人¹⁾、久保 洋¹⁾、井手 貴雄¹⁾、古賀 靖大¹⁾、高崎 光浩²⁾、能城 浩和¹⁾

1) 佐賀大学 一般・消化器外科、2) 佐賀大学高等教育開発センター

SP1-2 The Expansion of Dental Telemedicine in Surabaya

○ Aqsa Sjuhada Oki

eLearning Ambassador, Universitas Airlangga, Indonesia

SP1-3 The Endoscopic Club E-conference and Various Other Special Interest Groups of the APAN Medical Working Group

○ Shiaw-Hooi Ho¹⁾、Rungsun Rerknimitr²⁾、Dong-Wan Seo³⁾、Mohamad Zahir Ahmad⁴⁾、Shunta Tomimatsu⁵⁾、Tomohiko Moriyama⁶⁾

1) Department of Medicine, University of Malaya, KL, Malaysia.

2) Department of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand.

3) Department of Gastroenterology, Asan Medical Center, Seoul, Korea.

4) Department of Information Technology, University Malaya Medical Centre, KL, Malaysia.

5) Telemedicine Development Center of Asia, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan.

6) International Medical Department, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan

SP1-4 Latin Endoscopy Teleconference

○ Pablo Cortes

Gastroenterologist Clínica Alemana de Santiago, President Chilean Society of Gastroenterology, Chile

SP1-5 Russian-Japanese Clinical Case Teleconference on Gastrointestinal Endoscopy: Start up and Initial Experience

○ Roman Kuvaev¹⁾、Sergey Kashin¹⁾、Evgeny Fedorov²⁾、Mikhail Agapov³⁾、Natalia Vidyayeva¹⁾、Ekaterina Kraynova¹⁾、Denis Seleznev²⁾、Pavel Pravednikov⁴⁾、Mamraim Dzhumabaev⁵⁾、Askar Kutanov⁶⁾、Irina Sudovykh⁷⁾、Tomohiko Moriyama⁸⁾、Shuji Shimizu⁸⁾、Kenshi Yao⁹⁾、Takashi Yao¹⁰⁾、Kuriko Kudo⁸⁾、Shintaro Ueda⁸⁾

1) Yaroslavl Regional Cancer Hospital, Yaroslavl, Russia、2) Lobachevsky K+31 Clinic, Moscow, Russia、

3) Vladivostok Regional Clinical Railway Hospital, Vladivostok, Russia.

4) Clinical Hospital No 2, JSC MEDSI, Moscow, Russia.

5) National Center of Cardiology and Internal Medicine, Bishkek, Kyrgyzstan.

6) Central Asian Research and Education Network (CAREN), Bishkek, Kyrgyzstan.

7) Novosibirsk State Medical University Novosibirsk State Regional Clinical Hospital, Novosibirsk, Russia.

8) Kyushu University Hospital, Telemedicine Development Center of Asia, Fukuoka, Japan.

9) Fukuoka University, Fukuoka, Japan、10) Juntendo University, Tokyo, Japan

SP1-6 遠隔医療会議を通じた日本・イラク医療学術交流

○齋木 都夫

在イラク日本国大使館医務班

SP1-7 タンザニア助産師に対する胎児超音波診察技術の遠隔教育の実現可能性

○新福 洋子¹⁾、川瀧 元良²⁾、波々伯部 佳子³⁾、工藤 孔梨子³⁾、清水 周次³⁾、張 東曜⁴⁾、李 怡盈⁴⁾、片岡 弥恵子⁵⁾、五十嵐 由美子⁵⁾、山崎 麻子⁶⁾

1) 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 家族看護学講座、2) 神奈川県立こども医療センター、
3) 九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター、4) 台見診所、5) 聖路加国際大学、
6) 順天堂大学病院

第2会場（百年講堂 1F 中ホール1・2）

主題プログラム1 9:30～11:00

座長：近藤 博史（鳥取大学医学部附属病院 医療情報部）

黒田 和宏（京都大学医学部附属病院 医療情報企画部）

遠隔医療における次の潮流 — 患者生体情報の利用と標準化

SH1- 基調講演 PHR データの国際標準化動向

○田上 信介

パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス 日本地域委員会代表

SH1-1 複数の遠隔モニタデータを用いた遠隔診療アラート検出の一検討

○小林 直樹¹⁾、本間 聡起^{2,3)}

1) 埼玉医科大学 保健医療学部、2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター、
3) 慶應義塾大学 看護医療学部 SFC 研究所

SH1-2 遠隔モニタリングを支える情報システムのあり方について

○黒田 知宏¹⁾、黒田 佑輝¹⁾、陳 和夫²⁾

1) 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部、2) 京都大学医学研究科 呼吸管理睡眠制御学

SH1-3 母子 PHR 利活用システムの構築

○松島 一彰¹⁾、松本 浩樹²⁾

1) 一般社団法人 ICT まちづくり共通プラットフォーム推進機構、2) 前橋工科大学

SH1-4 ユーザーインターフェース改善を目的とした遠隔診療用アプリケーションと診察補助装置の開発 — 診療所要時間の改善効果

○本間 聡起^{1,2)}、小林 直樹³⁾

1) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター、
2) 慶應義塾大学看護医療学部 SFC 研究所、3) 埼玉医科大学保健医療学部

SH1-5 世界標準 IHE を用いた医療連携システムの維持期における課題

○近藤 博史

鳥取大学医学部附属病院 医療情報部

LS1 GramHealth: Protable Health Clinic A Tele-Healthcare System for Unreached Communities

○ Rafiqul Islam Maruf^{1,2)}、Yasunobu Nohara¹⁾、Nazneen Sultana²⁾、Ashir Ahmed^{2,3)}、Naoki Nakashima¹⁾

1) Medical Information Center, Kyushu University Hospital, Japan、

2) Grameen Communications, Bangladesh、

3) Department of Advanced Information Technology, Kyushu University, Japan

※日本語での発表になります。

一般演題3 13:10~15:00

座長：大山 太（東海大学医学部看護学科）

中村 昭則（国立病院機構まつもと医療センター脳神経内科 / 信州大学医学部第三内科）

救急医療

03-1 院内外で集中治療医を活用するための遠隔診療の試み

○讚井 將満

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部

03-2 過疎地域における遠隔診療支援システムによる急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法

○影治 照喜¹⁾、岡 博文²⁾、兼松 康久³⁾、永廣 信治³⁾、花岡 真実⁴⁾、佐藤 浩一⁴⁾

1) 徳島県立海部病院、2) 徳島大学病院 地域脳神経外科診療部、3) 徳島大学 脳神経外科、

4) 徳島赤十字病院 血管内治療科

03-3 Telestroke による脳卒中診療体制の運用

○石原 秀行、岡 史朗、岡崎 光希、西本 拓真、貞廣 浩和、末廣 栄一、清平 美和、森 尚昌、

土師 康平、鈴木 倫保

山口大学脳神経外科

03-4 遠隔集中治療 (tele-ICU) に関する取り組み

○中西 智之¹⁾、別府 賢²⁾、井手 岳³⁾、津久田 純平⁴⁾、朱 祐珍⁵⁾、堤 貴彦⁶⁾、藤 雅文⁷⁾、森口 真吾⁸⁾、
西山 慶⁹⁾

1) 株式会社 T-ICU、2) 国立病院機構京都医療センター 救命救急科、3) 兵庫医科大学 集中治療医科学、

4) 聖マリアンナ医科大学 救急医学、5) 京都大学大学院医学研究科 薬剤疫学分野、

6) 京都大学医学部附属病院 初期診療救急科、7) 横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部、

8) 滋賀県立総合病院 看護部、9) 国立病院機構京都医療センター 救命救急科

03-5 救急搬送支援システムの実用化に向けた改善と評価

○松本 浩樹¹⁾、岡崎 浩幸²⁾

1) 前橋工科大学、2) 株式会社ナカヨ

03-6 無人航空機を利用した医療過疎地における緊急血液検体搬送の研究開発（フェーズⅠ）

○儀賀 普嗣¹⁾、貞森 拓磨¹⁾、島谷 竜俊¹⁾、住吉 泰士²⁾、宮内 英樹³⁾、後藤 哲博⁴⁾、小野 俊二⁵⁾、

大下 慎一郎¹⁾、志馬 伸朗¹⁾

1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学、2) 株式会社 NTT ドコモ、

3) インフォコム株式会社、4) モバイルクリエイティブ株式会社、5) ciDrone 株式会社

03-7 脳卒中非専門家のための脳梗塞診療補助アプリケーションの開発

○櫻井 謙三¹⁾、長谷川 泰弘²⁾

1) 川崎市立多摩病院 神経内科、2) 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科

03-8 脳卒中の遠隔医療（Telestroke）のための教育ツール開発

○伊佐早 健司¹⁾、櫻井 謙三²⁾、秋山 久尚¹⁾、長谷川 泰弘¹⁾

1) 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科、2) 川崎市立多摩病院脳神経内科

O3-9 遠隔集中治療に必要な複数患者管理システムの構築

○高木 俊介^{1,2)}

1) 横浜市立大学附属病院 集中治療部、2) 日本集中治療医学会 ad hoc 遠隔 ICU 委員会

分科会2 15:30~17:00

座長：山田 恒夫（一般財団法人医療情報システム開発センター）

矢野喜代子（一般財団法人医療情報システム開発センター）

周産期医療分科会

S2-1 日本遠隔医療学会周産期医療分科会の方向性について

○小笠原 敏浩

岩手県立大船渡病院

S2-2 超小型モバイル CTG（プチ CTG）を用いた遠隔周産期管理システムの開発とそのグローバル展開

○原 量宏

香川大学 瀬戸内圏研究センター

S2-3 重症心疾患の胎児診断に果たす遠隔医療の役割

○川瀧 元良

神奈川県立こども医療センター 新生児科

S2-4 南アフリカ、タイ・チェンマイにおける、プチ CTG を使った遠隔妊婦健診海外実証テスト報告

○尾形 優子

メロディ・インターナショナル株式会社

S2-5 モバイルアプリケーションによるミャンマー農村地域の医療システム検討

○樽松 八平

BHN テレコム支援協議会

一般演題7 17:00~17:30

座長：山田 恒夫（一般財団法人医療情報システム開発センター）

矢野喜代子（一般財団法人医療情報システム開発センター）

周産期2

O7-1 広域 IT ネットワークを利用した遠隔胎児診断支援システム開始後1年間の評価と今後の課題

○閑野 知佳、清水 正樹

埼玉県立小児医療センター 新生児科

O7-2 臨床応用可能な、新生児蘇生における遠隔支援のためのシミュレーション教育用ツールおよびシステム開発

○岩永 甲午郎¹⁾、花岡 伸太郎¹⁾、友滝 清一¹⁾、野間 春生²⁾、松村 耕平²⁾、西本 騰²⁾

1) 京都大学医学部附属病院新生児集中治療部、2) 立命館大学情報理工学部

一般演題2 9:30～11:00

座長：松本 武浩（長崎大学病院医療情報部）
木ノ内玲子（旭川医科大学 医工連携総研講座）

遠隔医療相談・療養指導

- O2-1** 就労希望のてんかん患者へのアンケート調査：
記憶障害と言語障害に対する対面リハビリと遠隔リハビリのニーズ
○廣實 真弓¹⁾、岩城 弘隆^{2,3)}、森田 好海⁴⁾、渡辺 雅子⁴⁾、逸見 功⁵⁾、兼本 浩佑⁶⁾
1) 帝京平成大学 言語聴覚学科、2) 湊病院 北東北てんかんセンター、
3) 東北大学大学院 医学系研究科てんかん学分野、4) 新宿神経クリニック、
5) 日本赤十字看護大学 看護学科、6) 愛知医科大学病院 神経精神科
- O2-2** 眼科診療補助として医療専用のプライベート SNS の利用価値
○木ノ内 玲子^{1,2)}、守屋 潔¹⁾、石子 智士^{1,2)}、花田 一臣^{1,2)}、林 弘樹¹⁾、三上 大季¹⁾、吉田 晃敏³⁾
1) 旭川医大医工連携総研講座、2) 旭川医大眼科、3) 旭川医大
- O2-3** 生活習慣病における AI による療養指導の効果に関する研究
○権藤 侑子¹⁾、大家 理恵¹⁾、米谷 充弘¹⁾、唐島 成宙¹⁾、武田 仁勇^{1,2)}、米田 隆^{1,3)}
1) 金沢大学医薬保健学総合研究科循環器病態内科学（内分泌代謝内科）、
2) 金沢大学附属病院先端医療開発センター、3) 金沢大学医薬保健学総合研究科未来型健康増進医学分野
- O2-4** クリニックで施行している脱毛症患者へのオンライン医療相談について
○岡田 里佳
TM クリニック西新宿
- O2-5** 遠隔皮膚科疾患診断支援サービスを使った皮膚科専門医と非皮膚科医の皮膚疾患に対する認識調査とその考察
○竹村 昌敏^{1,4)}、物部 真一郎^{2,4)}、柏木 秀行³⁾
1) 東京医科歯科大学、2) 東具病院、3) 飯塚病院、4) エクスメディア
- O2-6** Telepresence を応用した普及可能な皮膚科遠隔診察の一例
○小野寺 好広^{1,2)}、三浦 慎平¹⁾、天野 博雄¹⁾
1) 岩手医科大学皮膚科、2) 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
- O2-7** 在宅患者と関連職種のための医療相談の円滑化：クラウドシステムの成果
○坂本 秀治¹⁾、木村 眞一²⁾
1) 株式会社ドクターノア、2) 医療法人ユリス会 きむら訪問クリニック
- O2-8** 脊椎内視鏡手術適応患者に対するセカンドオピニオンを遠隔診療で提供することの可能性
○北村 果納子¹⁾、古閑 比佐志²⁾
1) 医療法人財団 岩井医療財団、2) 岩井整形外科内科病院
- O2-9** 在宅療養者に対する遠隔音楽療法の取り組み
○小杉 尚子¹⁾、児玉 直樹²⁾、岡部 美保³⁾、棚橋 さつき³⁾
1) 東京医療保健大学、2) 新潟医療福祉大学、3) 高崎保健福祉大学

LS2 高齢難聴者との音声対話における質の改善と在宅医療に向けた取り組み

○中石 真一路（ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社）

一般演題4 13:10~15:00

座長：鈴木 亮二（東北大学大学院医学系研究科医学情報学分野）

山本 由子（東京医療保健大学千葉看護学部 看護学科）

在宅医療・介護

O4-1 眼科遠隔診療に有用な在宅での矯正視力評価機器の開発

○石子 智士¹⁾、間瀬 智子²⁾、菅原 充³⁾、安井 賢治³⁾、鈴木 誠³⁾、森野 誠治³⁾、菅原 一博²⁾、
花田 一臣¹⁾、木ノ内 玲子¹⁾、吉田 晃敏²⁾

1) 旭川医科大学 医工連携総研講座、2) 旭川医科大学 眼科、3) 株式会社 QD レーザ

O4-2 ドクターコール付き生体情報発信装置を用いた在宅医療支援システムの構築

○吉川 智美、松波 英寿

蘇西厚生会松波総合病院 まつなみリサーチパーク

O4-3 高齢者対話支援システムの脳科学的視点からの評価と介護施設における聴覚活用の実証実験

○中石 真一路^{1,2)}、中川 慧^{2,3)}、猪村 剛史^{2,3)}、河原 裕美⁴⁾、弓削 類^{2,3,4)}

1) ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社、2) 広島大学 宇宙再生医療センター、

3) 広島大学 医歯薬保健学研究院 生体環境適応科学研究室、4) 株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

O4-4 「眠りスキャン」遠隔見守りシステムが夜間介護労働者の疲労度に及ぼす影響 ～機器としての使いやすさとその背景～

○尾林 和子^{1,2)}、近藤 洋正¹⁾、岡本 佳美¹⁾、新坂 永枝¹⁾、相川 幸子¹⁾、江添 優子¹⁾、相川 文彦¹⁾、
大武 里香¹⁾、石井 陽子²⁾、増山 茂³⁾

1) 社会福祉法人東京聖新会、2) 一般社団法人ユニバーサルアクセシビリティ評価機構、

3) 東京医科大学渡航者医療センター

O4-5 介護事業所におけるコミュニケーションロボットの活用と効果

○池田 幸代、小早川 睦貴、井関 文一、中尾 宏

東京情報大学

O4-6 統合化在宅療養情報共有システム開発に関する検討

○日根野 晃代^{1,2)}、滝沢 正臣³⁾、吉川 健太郎^{4,5)}、中村 昭則^{2,6)}

1) 信州大学医学部附属病院 難病診療センター、2) 信州大学医学部 内科学(3)、

3) 中央コリドー、4) 信州大学医学部 新生児・療育学講座、5) 長野県立木曾病院 小児科、

6) 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター 神経内科

O4-7 在宅輸血における遠隔リアルタイムモニターの有効性

○西川 彰則^{1,2)}、坂野 紀子³⁾、笠原 真悟³⁾

1) 和歌山県立医科大学附属病院輸血部、2) 赤坂クリニック、

3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科心臓血管外科

O4-8 本態性高血圧症患者を対象に、標準治療に加え高血圧治療アプリを使用した時の有効性を探索的に評価をする臨床試験のプロトコル

○佐竹 晃太^{1,2,3)}

1) CureApp Research Institute、2) 日本赤十字社医療センター 呼吸器内科、3) 日本橋スマートクリニック

睡眠遠隔医療分科会

- S3-1** CPAP 遠隔モニタリングを用いた早期介入の意義
○富田 康弘^{1,2)}、木村 由香¹⁾、葛西 隆敏^{1,2)}、成井 浩司¹⁾
1) 虎の門病院 睡眠センター、2) 順天堂大学大学院 心血管睡眠呼吸医学講座
- S3-2** 当院における遠隔監視 PSG システムの実績
○八木 朝子、千葉 伸太郎
医療法人愛仁会 太田睡眠科学センター
- S3-3** 睡眠医療における Teleconsultation の有用性
○林田 健一¹⁾、千葉 伸太郎²⁾
1) 医療法人社団 SSC スリープ&ストレスクリニック、
2) 太田総合病院記念研究所附属診療所 太田睡眠科学センター
- S3-4** オンライン診療の SAS への応用
○武藤 真祐
医療法人社団鉄祐会

第4会場（同窓会館 1F 小講堂）

e-health 研究会

- S1-1** 遠隔診療の有効性・安全性に関するエビデンスの飛躍的な創出を可能とする方策に関する研究
○長谷川 高志¹⁾、佐藤 大介²⁾、清水 隆明³⁾、鈴木 亮二⁴⁾
1) 日本遠隔医療協会、2) 国立保健医療科学院、3) 姫路獨協大学、4) 東北大学
- S1-2** 遠隔診療の有効性・安全性・経済性に関するエビデンスの収集のための研究方法に関する文献調査
○佐藤 大介¹⁾、長谷川 高志²⁾
1) 国立保健医療科学院、2) 日本遠隔医療協会
- S1-3** 遠隔診療の研究手法についての文献考察
○鈴木 亮二¹⁾、長谷川 高志²⁾
1) 東北大学大学院医学系研究科医学情報学分野、2) 日本遠隔医療協会
- S1-4** 遠隔診療に関する診療行為の網羅的調査
○清水 隆明¹⁾、長谷川 高志²⁾
1) 姫路獨協大学、2) 日本遠隔医療協会

一般演題5 13:10~14:00

座長：東福寺幾夫（高崎健康福祉大学 健康福祉学部）

医療情報

O5-1 日常における画像撮影を用いた PHR 用バイタルデータ登録に関する一検討

○小林 直樹¹⁾、本間 聡起^{2,3)}

- 1) 埼玉医科大学 保健医療学部、2) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター、
3) 慶應義塾大学 看護医療学部・SFC 研究所

O5-2 遠隔画像診断における法的責任に関する調査研究

○五十嵐 沙織、鈴木 孝昭、青木 聡史、伊藤 寛之、高田 雄大
弁護士法人 AIT 医療総合法律事務所

O5-3 テレモニタリングデータの PHR(Personal Health Record) への活用法に関する検討

○本間 聡起^{1,2)}、小林 直樹³⁾

- 1) 独立行政法人 地域医療機能推進機構・埼玉メディカルセンター、
2) 慶應義塾大学看護医療学部・SFC 研究所、3) 埼玉医科大学 保健医療学部

O5-4 大学病院における ICT ツールの利用

○竹内 公一

千葉大学医学部附属病院地域医療連携部

一般演題6 14:00~14:50

座長：小笠原敏浩（岩手県立大船渡病院）

周産期 1

O6-1 宮城胎児心エコー遠隔セミナーの報告

○川瀧 元良¹⁾、長澤 智子²⁾

- 1) 神奈川県立こども医療センター新生児科、2) 医療法人なごみ会 三井病院検査室

O6-2 宮城胎児心エコー遠隔セミナーの報告：参加者へのアンケート調査

○長澤 智子¹⁾、川瀧 元良²⁾

- 1) 医療法人なごみ会 三井病院、2) 神奈川県立こども医療センター 新生児科

O6-3 岩手県周産期医療情報ネットワーク“いーはとーぶ”を利用した医療機関—市町村連携

○小笠原 敏浩

岩手県立大船渡病院産婦人科

O6-4 双方向ビデオ通話アプリの地域周産期現場における有用性と課題について

○海野 光昭

社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院

2日目 11月10日(土)

第1会場（百年講堂 1F 大ホール）

分科会4 9:00～10:00

座長：加藤 浩晃（京都府立医科大学）

遠隔診療モデル研究分科会

S4-1 オンライン診療に関する法的論点

○田丸 雄太
株式会社メドレー

S4-2 オンライン診療に関する制度の整理と課題

○加藤 浩晃^{1,2)}
1) 京都府立医科大学、2) デジタルハリウッド大学大学院

S4-3 オンライン診療研究会の発足について

○来田 誠^{1,3)}、黒木 春郎^{2,3)}
1) 新六本木クリニック、2) 外房こどもクリニック、3) オンライン診療研究会

招待講演1 10:00～10:40

座長：森 一郎（国際医療福祉大学医学部病理）

IL1 バーチャルスライドの有用性： テレパソロジーを含む病理診断、カンファレンス、教育への応用

○八尾 隆史
順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学

招待講演2 10:40～11:20

座長：尾形 優子（メロディ・インターナショナル株式会社）

IL2 遠隔健康医療相談『小児科オンライン』『産婦人科オンライン』 —妊娠・子育てにおいて誰も孤立しない社会を目指して—

○橋本 直也
株式会社 Kids Public

招待講演3 11:20～12:00

座長：岡田 宏基（香川大学医学部医学教育学講座）

IL3 在宅医療および認知症診療におけるオンライン診療の実際

○内田 直樹、浦島 創
医療法人すずらん会 たろうクリニック

LS3 (仮題)「治す医療」から、「治し支える医療」への転換
—「在宅見守りシステム」やオンライン診療を組み合わせた
メディカル・ベースキャンプ (MBC) の取り組み—

○織田 良正 (社会医療法人 祐愛会 織田病院)

特別企画2 13:10～15:00

座長：中島 直樹 (九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター)
近藤 博史 (鳥取大学医学部附属病院 医療情報部)

オンライン診療の保険収載で何が変わるか：行政と医師会の立場から

SP2- 基調講演 行政の視点で捉えるオンライン診療とこれからの目指すべき姿

○奥野 哲朗

厚生労働省医政局

SP2-1 オンライン診療のいま
～福岡市医師会および福岡市におけるかかりつけ医機能強化の進展～

○庄司 哲也

福岡市医師会 理事

SP2-2 東京都医師会員のオンライン診療に対する評価

○目々澤 肇

東京都医師会 理事

主題プログラム3 (スポンサードセッション) 15:30～17:30

座長：森山 大樹 (九州大学病院 光学医療診療部)
岸本泰士郎 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

あなたに合ったオンライン診療システムの選び方：臨床現場での経験を踏まえて

SH3-1 オンライン診療時代のかかりつけ医強化システム「YaDoc」の有用性

○内田 直樹

医療法人すずらん会 たろうクリニック

○寺澤 佳洋

豊田地域医療センター 総合診療科

○園田 愛

株式会社インテグリティ・ヘルスケア

SH3-2 Smart Home Medical Care
—在宅医療IoT化の可能性—

○吉村 英樹

株式会社オプティム

SH3-3 オンライン診療サービス「クロン」の臨床現場での活用状況

○草間 亮一

株式会社 MICIN

SH3-4 【導入実績 No1】なぜ CLINICS は多くの医療機関様から支持されるのか？

○島 祐介

株式会社メドレー CLINICS 事業部

共催：株式会社インテグリティ・ヘルスケア、株式会社オプティム
株式会社 MICIN、株式会社メドレー

分科会5 9:00~10:00

座長：中村 昭則（国立病院機構まつもと医療センター脳神経内科 / 信州大学医学部第三内科）
滝沢 正臣（中央コリドー）

在宅生体モニタリング機器情報遠隔伝送のためのガイドライン策定分科会

S5-1 人工呼吸器のアラーム伝送の院内実証実験

○中村 昭則^{1,2)}、滝沢 正臣³⁾、吉川 健太郎^{4,5)}

- 1) 国立病院機構まつもと医療センター神経内科、2) 信州大学医学部第三内科、3) 中央コリドー、
- 4) 長野県立木曽病院小児科、5) 信州大学医学部新生児学・療育学講座

S5-2 在宅人工呼吸器からのアラーム伝送とモニタリング実証実験

○吉川 健太郎^{1,2)}、滝沢 正臣³⁾、中村 昭則^{4,5)}

- 1) 信州大学医学部 新生児学・療育学講座、2) 長野県立木曽病院 小児科、3) 中央コリドー、
- 4) まつもと医療センター神経内科、5) 信州大学医学部第3内科

S5-3 人工呼吸器アラーム情報のクラウド型多地点通報システムの開発

○藤原 尚¹⁾、三沢 浩一¹⁾、吉川 健太郎²⁾

- 1) キッセイコムテック株式会社、2) 信州大学医学部 新生児学・療育学講座

S5-4 遠隔モニタリングガイドラインに対応した在宅医療機器のIoT化

○黒田 正博

国立研究開発法人 情報通信研究機構 標準化推進室

一般演題8 10:00~11:00

座長：坂田 信裕（獨協医科大学基本医学 情報教育部門）

生体モニタリング1

O8-1 付け爪型脈波計測システムの実用化に向けた小型無線通信回路の性能評価

○三宅 真正¹⁾、石井 耕平²⁾

- 1) 香川高等専門学校創造工学専攻、2) 香川高等専門学校機械電子工学科

O8-2 付け爪型脈波計による生活環境下での脈計測と体動アーチファクトの検討

○石井 耕平

香川高等専門学校 機械電子工学科

O8-3 慢性心不全増悪による再入院を防ぐために遠隔モニタリングを用いた早期介入が有用だった症例

○酒井 博司

名寄市立総合病院 循環器内科

O8-4 遠隔モニタリング時代における植込型心電図記録計使用の現状

○南口 仁、小津 賢太郎、小西 正三、中野 智彰、須永 晃弘、水野 裕八、大谷 朋仁、彦惣 俊吾、坂田 泰史

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学

O8-5 ウェアラブルセンサーによる遠隔心電図モニタリングの有用性と将来性

○立石 憲彦¹⁾、浦上 悟²⁾、川尻 政文³⁾

- 1) 長崎県立大学看護栄養学部看護学科、2) イーグルマトリックスコンサルティング株式会社、
- 3) 株式会社タスケア

一般演題9 11:00~12:00

座長：本間 聡起（独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター）

生体モニタリング2

09-1 遠隔医療の維持透析診療への導入

○風間 順一郎¹⁾、小田 朗¹⁾、中島 彩²⁾、田中 健一²⁾、社本 博³⁾、及川 友好³⁾

1) 福島県立医大腎臓高血圧内科、2) 福島県立医大病院人工透析部、3) 南相馬市立病院

09-2 遠隔医療を用いて心臓手術の麻酔管理の支援を施行した一症例

○鈴木 真也¹⁾、林 健太郎¹⁾、神田 浩嗣¹⁾、笹川 智貴¹⁾、三上 大季²⁾、林 弘樹³⁾、国沢 卓之¹⁾

1) 旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座、
2) 旭川医科大学 遠隔医療センター 兼 旭川医科大学 医工連携総研講座、
3) 旭川医科大学 学長政策推進室 兼 旭川医科大学 医工連携総研講座

09-3 遠隔医療機器を用いて超音波ガイド下神経ブロック指導を施行した一症例

○岩田 千広¹⁾、小野寺 美子²⁾、林 健太郎²⁾、神田 浩嗣²⁾、笹川 智貴²⁾、三上 大季^{3,4)}、国沢 卓之²⁾

1) 名寄市立総合病院、2) 旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座、3) 旭川医科大学病院 遠隔医療センター、
4) 旭川医科大学 医工連携総研講座

09-4 オンライン診療実現に向けたC反応性蛋白迅速測定機器の開発

○権藤 侑子、米谷 充弘、大家 理恵、唐島 成宙、米田 隆

金沢大学医薬保健学総合研究科循環器病態内科学（内分泌代謝内科）

09-5 「禁煙アプリ」を併用した標準禁煙治療プログラムにおけるオンライン診療および対面診療の多施設無作為化比較試験プロトコル

○谷川 朋幸^{1,2)}、野村 章洋^{1,3,4)}、黒田 麻紀⁵⁾、無藤 友康⁵⁾、飛田 英佑⁶⁾、佐竹 晃太^{1,5)}

1) CureApp, Research Institute、2) 聖路加国際大学公衆衛生大学院、3) 金沢大学附属病院循環器内科、
4) 金沢大学附属病院先端医療開発センター、5) 株式会社キュア・アップ、
6) 大阪大学医学部医療データ科学寄付講座

ランチョンセミナー4 12:10~13:00

共催：メロディ・インターナショナル株式会社

座長：小笠原敏浩（岩手県立大船渡病院）

LS4 オンライン診療の動向

○吉岡 てつを（厚生労働省九州厚生局）

一般演題10 13:10~14:10

座長：松本 浩樹（前橋工科大学大学院工学研究科 博士後期課程）

循環器

O10-1 電子聴診器を用いたリアルタイム遠隔聴診システムの研究開発

○儀賀 普嗣、貞森 拓磨、石井 潤貴、菊谷 知也、島谷 竜俊、大木 伸吾、大下 慎一郎、志馬 伸朗

広島大学大学院 救急集中治療医学

O10-2 心不全領域におけるオンライン診療システムの構築とセキュリティの検討

○山下 貴範¹⁾、上田 真太郎²⁾、吉崎 真司¹⁾、加来 秀隆³⁾、工藤 孔梨子²⁾、井手 友美³⁾、筒井 裕之³⁾、清水 周次²⁾、中島 直樹¹⁾

1) 九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター、2) 九州大学病院アジア遠隔医療開発センター、
3) 九州大学病院循環器内科

O10-3 地域医療における心原性脳塞栓症発症など予防医療に対する新しい取り組み

○久保山 修¹⁾、萱橋 理宏²⁾

1) つくばハートクリニック、2) NPO 遠隔医療推進ネットワーク

O10-4 一般市民を対象とした非侵襲的長時間連続転送テレメトリー式心電送信機 Duranta[®] を用いた心房細動検出の有用性

○秋山 久尚、鹿島 悟、長谷川 泰弘
聖マリアンナ医科大学 脳神経内科

一般演題11 14:10~15:00

座長：岸本 純子（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）

遠隔会議への技術支援・その他

O11-1 医療・健康ビッグデータの産業での活用：実地調査からの分析

○辻 正次
神戸国際大学 経済学部

O11-2 遠隔診療を見越した複数カメラによる映像伝送の検証

○安徳 恭彰¹⁾、工藤 孔梨子²⁾、波々伯部 佳子²⁾、富松 俊太²⁾、上田 真太郎²⁾、清水 周次²⁾
1) 大分大学学術情報拠点医学情報センター、2) 九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター

O11-3 A Step Forward in Sharing Images during Telemedicine Conferences

○Shintaro Ueda¹⁾、Kuriko Kudo¹⁾、Tomohiko Moriyama¹⁾、Yoshinori Suyama²⁾、Shuji Shimizu¹⁾
1) Telemedicine Development Center of Asia, International Medical Department, Kyushu University Hospital、
2) Unixon Systems Co.

O11-4 多地点接続症例検討遠隔会議におけるユーザー体感品質を考慮した技術的課題

○富松 俊太^{1,2)}、工藤 孔梨子¹⁾、森山 智彦¹⁾、平井 康之³⁾、磯部 紀子^{4,5)}、清水 周次¹⁾
1) 九州大学病院国際医療部、2) 九州大学大学院芸術工学府、3) 九州大学大学院芸術工学研究院、
4) 九州大学大学院医学研究院脳神経治療学、5) 九州大学大学院医学研究院神経内科学

O11-5 地域包括支援センターにおける情報通信技術活用に向けたニーズ調査

○豊増 佳子^{1,2)}、葛西 好美²⁾、吉岡 洋治²⁾、川口 孝泰²⁾
1) 筑波大学大学院、2) 東京情報大学

第4会場（同窓会館 1F 小講堂）

分科会6 9:00~10:00

座長：長縄 拓哉（東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座）
田中 佑人（大阪歯科大学）

歯科遠隔医療分科会

S6-1 歯科における遠隔医療の現状と可能性

○長縄 拓哉
東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座

S6-2 歯科遠隔医療におけるVR：子どもの自律的な姿勢を育むツールとしての可能性

○松村 雅代
株式会社 BiPSEE

S6-3 少子超高齢社会を背景に、歯科遠隔診療・相談および医科歯科連携についての取り組み

○竹山 旭^{1,2)}
1) 株式会社 NOVENINE、2) 大阪歯科大学口腔外科学第1講座

S6-4 訪問看護ステーションにおける口腔ケアの必要性と遠隔歯科診療との連携について

○高丸 慶

一般社団法人訪問看護支援協会

分科会7 10:00~12:00

座長：岸本泰士郎（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

江口 洋子（慶應義塾大学）

精神科遠隔医療分科会

S7-1 研究から臨床へ：J-INTEREST オーバービューと我が国における精神科遠隔医療の展望

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S7-2 高齢者に対する遠隔認知機能検査信頼性試験

○飯干 紀代子¹⁾、山之内 育子¹⁾、山岡 義尚²⁾、江口 洋子²⁾、岸本 恵美^{2,3)}、岸本 泰士郎²⁾

1) 志学館大学、2) 慶應義塾大学 医学部、3) 清扶会星医院

S7-3 強迫症・社交不安症・パニック症の患者への在宅WEB会議による遠隔認知行動療法のシングルアーム試験

○松本 一記^{1,2)}、清水 栄司^{1,3,4)}、中川 彰子^{1,2,4)}、須藤 千尋³⁾、吉田 齋子^{1,3)}、関 陽一^{1,4)}、沼田 法子^{1,4)}、高梨 利恵子¹⁾、横尾 瑞恵⁴⁾

1) 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、

2) 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達研究科、

3) 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、4) 千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター

S7-4 オンライン診療の精神科領域での実践

○来田 誠

新六本木クリニック

S7-5 精神科領域も含む遠隔医療・オンライン診療に関する政策動向と今後の展望

○吉村 健佑^{1,2)}

1) 千葉大学医学部附属病院 病院経営管理学研究センター、

2) 国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター

分科会8 13:10~14:10

座長：瀧澤 清美（NPO 法人地域診療情報連携協議会）

遠隔医療通訳分科会

S8-1 日本の医療通訳の現状と諸外国における医療通訳の現状

○長嶺 めぐみ

群馬医療福祉大学

S8-2 医療通訳者における文化的背景の理解の重要性

○田中 佐代子

藤田保健衛生大学医療科学部

S8-3 諸外国の遠隔医療の現状について

○佐々木 留美

有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部ヘルスケア